

# 現場が抱える「福祉制度の壁」を 乗り越えるための チャレンジと実践

## 第2回 緊急一時支援全国実践研究フォーラム

緊急一時支援全国ネットワークでは、既存制度では対応しにくい課題や複合課題を持つ人を、いつでも（緊急も含めて）、一時（一定期間）受け入れ、安心して日常生活を送れるよう支援することを、「緊急一時支援」と呼んでいます。

これまで、調査研究や実践交流会を通じて聞いてきた実践者の声を基に、本フォーラムを開催いたします。

本フォーラムでは、多様な取り組みの形から「緊急一時支援」の意味や実践方法を理解し、支援現場が抱える「福祉制度の壁」を乗り越えることを通じて、いま社会でなにが起こっているのかに気づく、『制度じゃない「制度」』とも言える取り組みを考えていくための議論の場とします。

2026

2/10 (火)

13:00~17:00

**開催方法** Zoomによるオンライン**対象** 緊急一時支援の実践者や興味・関心のある方**参加費** 参加費 3,960円/人  
★実践者（予定者含む）及び行政職員とのペア参加を推奨します  
（ペア参加の場合、自治体職員は無料です）**定員** 100人**申込締切** 2026年2月3日（火）**申込方法** 下記のURL、もしくは、QRコードよりお申し込みください。<https://clc-books.shop-pro.jp/?pid=189895474>

お申し込みの際に、参加を希望される分科会を選択してください。

ペア参加の自治体の方も、分科会を選択していただけます。ペア参加の方は、備考欄に、「①ご所属（自治体名・部署）」、「②お名前」、「③希望する分科会」をご記入ください。

**参加方法** 2月6日（金）に、全体会・分科会への参加方法やZoom入室用URLを、ご登録のメールアドレスへお送りします。**主催** 緊急一時支援全国ネットワーク ネットワークの紹介はQRコードからご覧ください**事務局** 特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター（CLC）  
〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1丁目7番7号  
TEL 022-727-8731 E-mail: info@clc-japan.com  
担当：若井・太田

# 現場が抱える「福祉制度の壁」を乗り越えるための チャレンジと実践

13:00~13:05 開会・趣旨説明

13:05~14:05 **全体会1** 多様な緊急一時支援の取り組みと共通する思い  
~「制度の壁」を越え 目の前の必要に応える~

実践から緊急一時支援を  
理解する

## パネラー

ちば地域生活支援舎

湘南ライフサポート・きずな

縁が和

代表理事 兼 事務局長 太齋 寛

理事長 川辺 克郎

理事長 国松 浩司

## コーディネーター

西宮市社会福祉協議会

常務理事 上野 武利

14:05~14:20 休憩

14:20~15:20

緊急一時支援実践者(施設)  
の運営や工夫

どちらかをお選びください

孤立しない支援体制のデザインと  
具体的整備方法

## 分科会1

現場の実践と運営のリアル

~緊急一時支援への思いと苦悩~

### 登壇者

そらいろコアラ 共同代表理事 鳥飼 蓬子

夢ゆめハウス 理事長 池田美枝子

### コーディネーター

東北福祉大学 総合福祉学部教授 高橋 誠一

## 分科会2

緊急一時支援の体制と運営の継続

~分野別制度の弾力的運用~

### 登壇者

仙台市 健康福祉局 社会課 地域福祉係

国見千代田のより処 ひなたぼっこ管理者 高橋 正佳

だいじょうぶ 理事長 畠山 由美

### コーディネーター

日本福祉大学

客員教授 渋谷 篤男

※分科会では、質疑応答を通じた意見交換を行います。

15:20~15:35 休憩

15:35~17:00 **全体会2** 現場が抱える福祉制度の壁とは  
~いま社会でなにが起こっているのかを肌で感じ、放らず寄り添う~

支援現場の声から  
「制度じゃない制度」を考える

## パネラー

コミュニティワーク研究実践センター

茨城NPOセンター・commons

事務局長 湯澤 真吾

代表理事 横田 能洋

## サポーター

東北福祉大学 総合福祉学部

全国コミュニティライフサポートセンター

厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課

生活困窮者自立支援室 兼 地域共生社会推進室 室長 南 孝徳

教授 高橋 誠一

理事長 池田 昌弘

## コーディネーター

日本福祉大学 福祉経営学部

客員教授 渋谷 篤男

17:00

閉会

※プログラムは変更になる場合があります。